

びわこ大なまず通信

第7号

平成18年1月1日

びわこ惑惑クラブ



新年のごあいさつ



みなさまには恙なく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
わが「びわこ惑惑クラブ」も、昨年いろいろと大きな足跡を残しつつ新しい年を迎えることができました。
発足後15年目の節目が近づいていますが、今年は2回目の海外遠征が計画されており、新しい出会いが待っています。また、チームの若手充実も懸念の課題ですが、意欲的に取り組み、新しい仲間を加えたラグーマンの楽しい集いにしていきたいと念じています。
本年も宜しく申し上げます。



会長 雲川 昂

ラグビーフットボールとの出会い

2005年戦後60年の節目の年、終戦の時私は国民学校1年生満7歳であった。戦後色々のスポーツが盛んになった。用具は何もなかったが先ず野球、砂場での相撲、夏になれば琵琶湖での水泳、遊びの中でいろんなスポーツと出会った。
その頃からスポーツは観るものでなく、何でも行うものだと私自身感じ、そう思っている。今もその考えは変わっていない。



西澤 武雄

小学校、中学校の時代は秋には陸上競技で走り幅跳び、三段跳び、走り高跳びのジャンプ競技に熱中したが、その時期が過ぎると体操競技部に籍をおいてマット、跳び箱、鉄棒と練習に励んだ。その当時、竹本選手の鉄棒演技を見に行き体操競技にあこがれて、高校に入学したら体操選手を目指そうと思っていた。

ところが、高校入学まもなく近所の先輩の命令で「ラグビー部の練習にこい」と言われてグラウンドに行った。先輩から、「このスパイクはけるだろう」と、赤い色したサッカー用のスパイクをはいてグラウンドを走った。それから毎日授業が終われば練習の連続であった。走ることに苦にならなかったが、体力が伴わなくて耳がスゥスゥして倒れそうになってもついて走っていたことを思い出す。

何回か試合をするたびに、こんな面白いスポーツは今までに会ったことはない、練習は苦しいが試合は練習の時より楽に感じた、試合が遠のくと早くゲームがしたかった。

長い間ラグビーから離れていたが、「ねんりんピック岩手」を機会に「惑惑」に入れてもらい再度のラグビーとの出会いができた。練習に行かなければポジション争いが厳しく試合には出られない。今でも、練習より試合の方が面白い。厚かましくも試合には毎回、のこのことついていく。少しの時間でよいからグラウンドに立ちたい。「惑惑」結成15年が近づきラグビーとのつきあいは50歳過ぎてからのほうが長い。

これからも1日も長くラグビーとその仲間の皆さんとつきあっていきたい。

< 惑惑ラグビーを愛する男 >

秋のシーズン・ビッグな出会い

広報担当 松田

10月から11月にかけて、チャ・アップ伊勢大会、日本真ん中大会、ねんりんピック福岡2005などビッグな交流試合が目白押しで、高齢のラグーマンにとってはかなり疲労のたまった秋のシーズンであった。その一部を紹介する。

大会名	開催日	開催場所	参加チーム	その時のスナップ
チャ・アップ伊勢大会	H17.10.15 ~ 16	伊勢市 朝熊運動公園	9チーム 不惑 惑惑 どんぐり、三重惑惑、ブルーウェーブ、びわこ惑惑、ナツソ-他 (ゲーム:混成)	
日本真ん中大会	H17.10.29	希望が丘競技場	4チーム 福惑 岐阜惑惑 三重惑惑、びわこ惑惑 ゲーム(トーナメント) ・岐阜・びわこ ・三重・びわこ	
ねんりんピック福岡2005	H17.11.11 ~ 14	宗像グローバルアリーナ	24チーム 北海道から鹿児島までゲーム ・長崎・びわこ ・福岡B・びわこ	

< 最近の試合結果 >

試合日	対戦相手	場所	試合結果 (4勝4敗)
H17.10.2	城北クラブ	野洲川公園グラウンド	対城北 5-24
H17.10.10	福惑、西京都ク	皇子山陸上競技場	対福惑 14-5、対西京都 5-19
H17.10.15 ~ 16	チャアップ伊勢大会	朝熊運動公園	混成チームのため記録なし
H17.10.29	日本真ん中大会	希望が丘競技場	対岐阜 24-15、対三重 0-40
H17.11.11 ~ 14	ねんりんピック福岡	宗像グローバルアリーナ	対長崎 7-26、対福岡B 45-12
H17.12.4	オールドベア	親里グラウンド	対オールドベア 36-5

編集後記：今回は情報量が多く、十分に内容を伝えることができなかつたことをお詫びしたい。
1月15日、2月26日と試合が続く。体調管理に万全を！ 松田